

「東村山むさしの」教職員研修資料 2017年7月

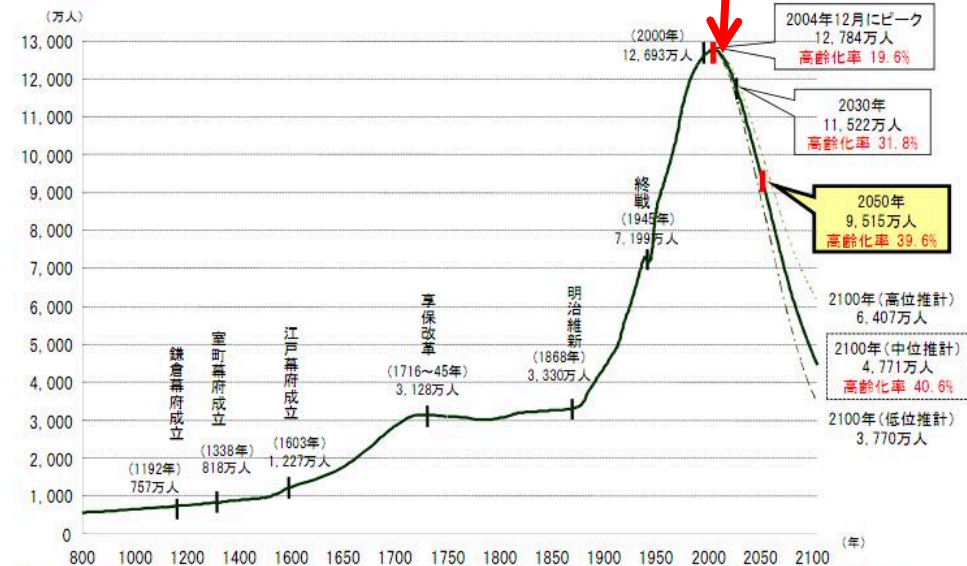
少子化問題、高齢者社会への懸念、年金枯渇？可処分所得の減少社会？雇用の創出、女性の社会進出、などなど、全ての問題の根源にある少子化の影響は、実はまだこの辺り。始まったばかりで大騒ぎ。

第I章 長期展望の前提となる大きな潮流

我が国の人口は長期的には急減する局面に

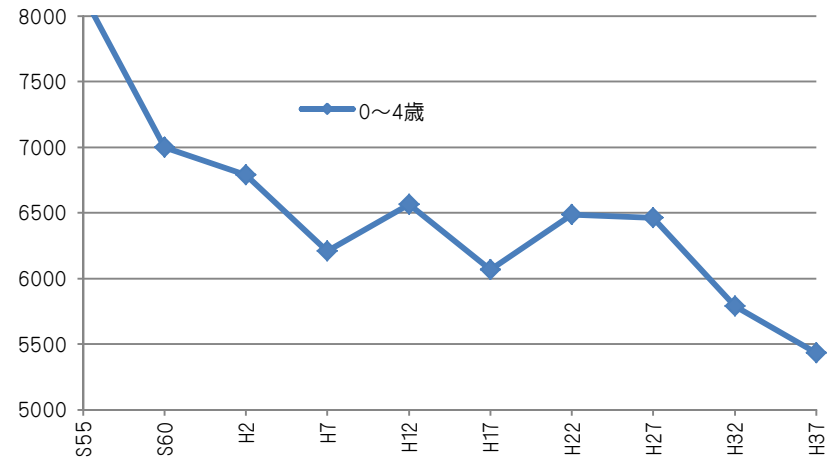


○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく可能性。この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。

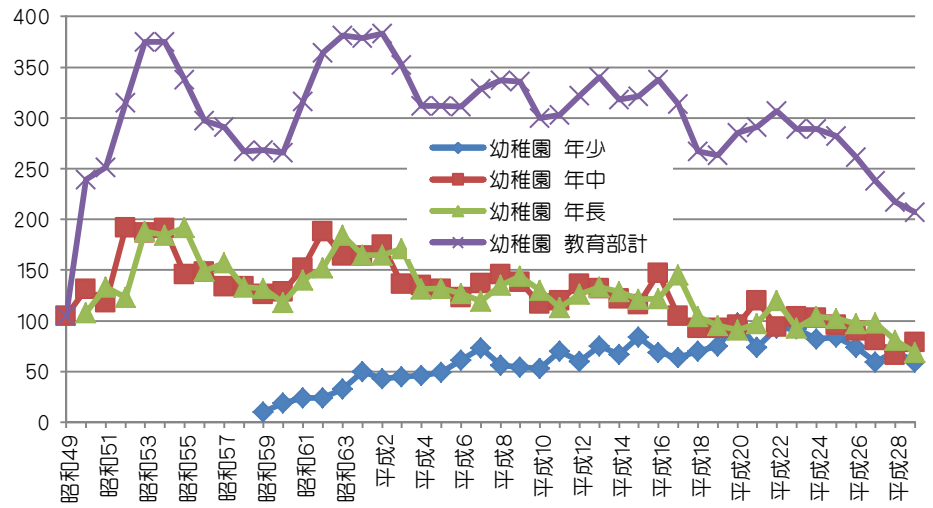


(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

「考えてみよう」 幼稚園<保育園傾向へ。
今日の辺？幼稚園の今後は？市内就学前人口の予測



「東村山むさしの」幼稚園園児数の推移



「明確な衰退産業である単独幼稚園からの長期的な事業再建計画」

今この辺

園児減少
資金難
建替困難

事業構造
経営システム
事業母体の改革へ

シェアリング構造推進
耐力向上・母体の確保



シェアリング構造の進化
サービスの増大

資質の向上・唯一無比の環境
ロジカルな教育保育の展開

過去最少の園児数でも、なぜ雇用の創出ができ、建替が可能になり、財務改善が進んだのか？

保育部創設(先行投資)
ニーズの確保
社会支援

多機能化・サービス向上
シェアリングによる資金捻出

実践・政策の組み立て
時期事業計画への能力発揮

多種多様な雇用環境の実現
処遇や労務の改革の実現
園の生き残り、環境の保全

他園は？
むさしのは？

個人の生き方も考えてみる。

生き残るため、実現するためには、過去に遡る計画と狙いが必要。